

ウィズカットチャンネル

2023年のスタート



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。一般社団法人Withketでは、2023年のスタートと同時に、法人としての広報誌を作成する運びとなりました。今回が第一弾、「まずは知ってもらおう！」という気持ちのもと、手探りですが紙面を作っていきたいと思っています。



昨年の大きな変化としては、介護保険事業として「訪問介護事業」をスタートさせたことです。今までも、障害のある方を対象とした居宅介護をおこなっていましたが、同じ名称の「ここら」として対象を高齢者の方に対しても広げたとこととなっております。

背景としては、年齢によって使うことのできるサービスが異なることから、今まで使っていたサービス、例えば障害福祉サービスの通院介助が、65歳を過ぎると介護保険優先になるため、使えなくなってしまおうというケースがあったからでした。

利用者さまとしては、慣れ親しんだ事業所、またはヘルパーを変えることを余儀なくされることになるわけですが、この部分で私たちにできることはないかと議論を重ね、介護保険の事業をスタートするきっかけの一つとなっています。

他にも、柏市逆井という地域柄、高齢の方も多く住まわれているという現状で、地域の中にある事業所として活躍の場もあるのではないかと考えも持っています。

悩みに悩んだ事業所名は、既存の居宅介護と同じ「ここら」です。サービス種別が代わっても、安心して未永く利用してもらえるよう、名称は据え置き、年齢が変わってもいつものサービス提供をしていきます。

代表・管理者 清水真美



コラム〜ちょっと一言のコーナー〜

うちの事業の中では「放課後等ディサービス」をやっていますが、その「放課後等ディサービス」においては「療育」という言葉が持ち出されることが多くなりました。その「療育」は、諸説あるものの「医療」「治療」「教育」または「保育」から造られた言葉とされています。面白いことに、今の療育ブームの背景にはこれらの言葉が透けて見えることもまた事実です。

そんな中、ひとつ気になることもあります。放課後等ディサービスは福祉サービスなのに、先に挙げた「療育」という言葉の中には「福祉」の要素が見当たらないことです。大変に不思議ですが、このことから、「療育」という言葉が、福祉サービスの中においては一人歩きしていると言えそうです。結論から言うと、福祉的には「療育」は「発達支援」と読み替えられるのではないかと思います。そして、この辺りを事業所の活動や理念にどう落とし込むか、今後の療育を巡る在り方にも現れるのではないのでしょうか。

小山健一



事業所は逆井駅が近いので、散歩コースでは電車をみることもできます。



こちらはホームページにアクセスできるQRコードです。随時更新、紹介動画もありますので是非ご覧ください！

新しい社員の紹介

ここらの新入社員です！

初めまして！

《ここら》所属の長谷川 恵です。在宅の仕事をするのは初めてなのでわからない事が沢山ありますが笑顔と元気いっぱい頑張ります！よろしくお願いたします。



青森から千葉へ〜はじめまして！

はじめまして、山本恵利子です。5年前に松戸市に移住してきましたが、生粋の青森県人で、地元では特別支援学校の教員をしていました。自慢？は好奇心の旺盛さです。(笑)『一笑勉強、一生青春』を motto に頑張ります。



送迎を担当する職員の紹介です！

金曜日お迎え担当をさせていただきます佐藤みゆきと申します。短い時間の関わりの中でも『また会いたいな』と思ってもらえるようなみんなを笑顔にできる職員を目指します！よろしくお願いたします。



職員の近況報告

保育士への道！二年目のチャレンジ

こちらでの勤務も2年目になりました。私は3月から保育士国家試験の勉強に取り組んできました。努力が実り一次試験に合格、今は実技試験を控えています。合格出来たらまたご報告させていただきます。



ここらとHi-Nique!で活躍中！

元々、障害児教育に興味を持ちこの世界に入りました。そして、今年の9月からWithketに入社しました。現在は資格の取得に向けてがんばっています。Withketではこれまでの知識に加えてどんどんいろんなものを吸収していきたいです。



編集後記

さて、今回初となる法人としての広報誌でしたが、みなさんいかがだったでしょうか。各事業はもちろん、法人の展開も個々の職員のことなど、もっと知っていただけるようにしたいと思っています。それでは、また！

